

# 天生の湧き水で雪中酒

## 飛騨市河合町 仕込みへくみ上げ

飛騨市河合町の特産品「飛騨かわい雪中酒」

造りのための天生の湧き水取りが11日、同町元田地区で行われた。雪中酒は天生峠一帯で保管し、夏の暑い時期に天然雪を詰めて出荷する。3月中旬から6月末まで地元北飛騨商工会



雪中酒の仕込みに向けて天生の湧き水をポンプで採取する杜氏の北場広治さん(左)と飛騨市河合町元田

が二十数年前から毎年、同市古川町の渡辺酒造店に醸造を依頼。今年720リットル入りで5千本の出荷を予定している。この日は、昨年9月に同酒造店の杜氏として関西から赴任した北場広治さん(50)ら関係者4人が、雪深い同峠の採水地を訪れ、ポンプで約3600リットルをくみ上げた。北場さんは「口当たりが軟らかく、ミネラル分も多く感じる。この水に合った自分なりの雪中酒を提案したい」と意気込んだ。

(古宿博史)

